

臨時号

紫野だより

令和8年3月3日
京都市立紫野小学校
校長 吉岡 正重

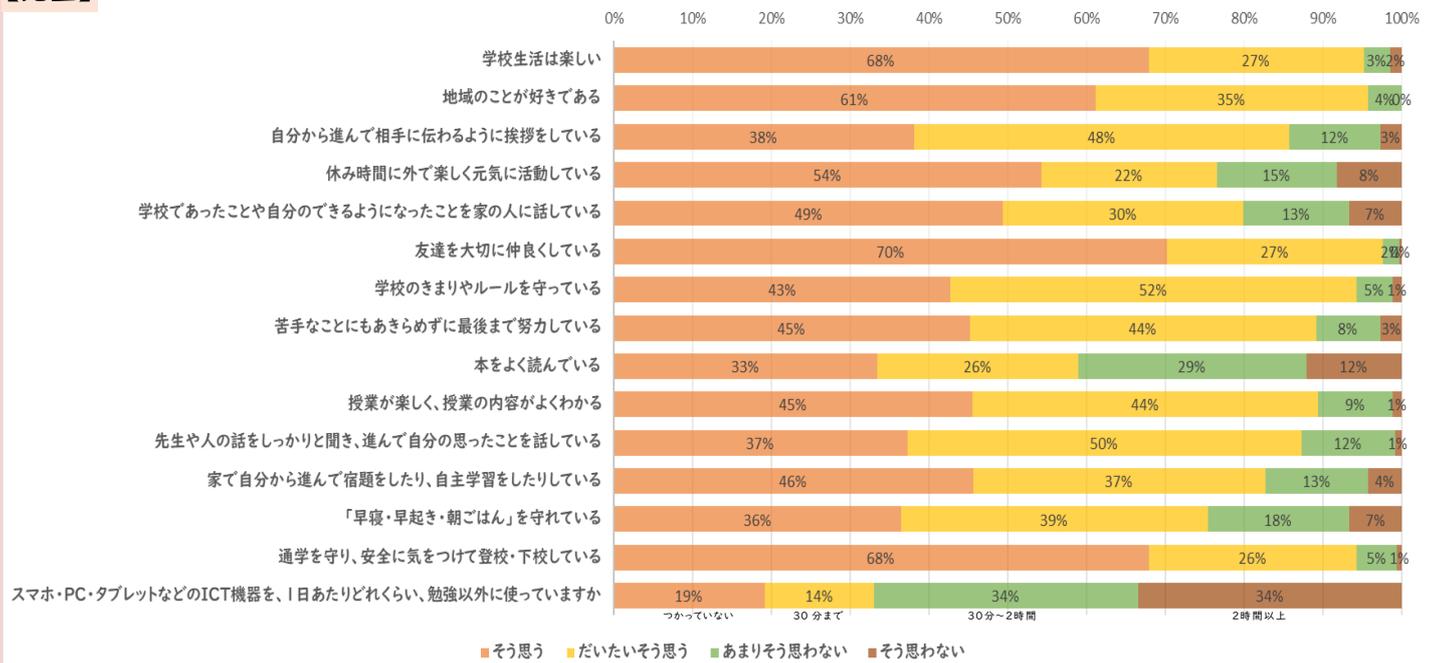
学校教育目標 夢に向かって自ら未来を切り拓く子どもの育成

令和7年度 第2回 児童・保護者アンケート集計結果のご報告

集計結果について報告させていただきます。保護者の回答について、第1回は257名(昨年度248名)、第2回は219名(昨年度173名)の方がご協力くださいました。昨年度より増えています。アンケートは、家庭と地域と学校とが思いを一つにする大切な資料となります。多くの皆様方にご回答いただき、ありがとうございました。

今後も、回答率100%をめざしてご協力いただけるとありがたいです。

【児童】



肯定的な回答比較

	第1回	第2回	差分
学校生活は楽しい。	94%	95%	+1%
地域のことが好きである。	94%	96%	+2%
自分から進んで相手に伝わるように あいさつをしている。	89%	86%	-3%
休みに外で楽しく元気に活動している。	78%	76%	-2%
学校であったことや自分のできるようになったことを家の人に話している。	84%	79%	-5%
友だちを大切にし なかよくしている。	99%	97%	-2%
学校のきまりやルールを守っている。	95%	95%	±0
苦手なことにもにがてなことにも あきらめずに最後まで努力している。	89%	89%	±0
本をよく読んでいる。	69%	59%	-10%
授業が楽しく、授業の内容がよくわかる。	89%	89%	±0
先生や人の話をしっかりと聞き、進んで自分の思ったことを話している。	85%	87%	+2%
家で自分から進んで宿題をしたり、自主学習をしたりしている。	84%	83%	-1%
「早寝・早起き・朝ごはん」を守れている。	82%	75%	-7%
通学路を守り、安全に気をつけて登校・下校している。	95%	94%	-1%
New スマホ・PC・タブレットなどの ICT 機器を、勉強以外に使っている時間	つかっていない、30分まで	33%	
	2時間以上	34%	

<考察>

要注意

1. **安定した満足度**: 「学校生活は楽しい」「授業が楽しい」「きまりを守る」「苦手なことも努力」「地域のことが好き」などの項目で、満足度が高く、変動がないことから、学校生活や地域への愛着は安定していることがわかります。
2. **読書習慣の大幅減少**: 「本をよく読んでいる」が10%と大きく低下しました。ICT 機器の利用時間「2時間以上」が34%と高いことも、一因かもしれません。
3. **生活習慣の悪化**: 「早寝・早起き・朝ごはん」が7%の低下、「家の人に学校のことを話している」は5%低下しました。

学校生活や学習態度、地域への愛着などは、子どもたちの笑顔のためにと尽力いただいている保護者の皆様や地域諸団体の方々のお気持ちやお取組が子どもたちに伝わっていると同時に、生活科や総合的な学習の時間に地域学習を実践している成果であろうと考えます。読書習慣、生活リズム、家族との会話については、ICT 機器の利用の仕方に課題がある可能性が高いと思います。

★改善点★

1. **読書習慣の回復**: 学校での読書時間をなるべく多く設定し、読書の習慣化を図りたいと思います。また、学校司書や図書委員会を中心に魅力ある図書館になるよう環境を整え、読書イベントやおすすめの本紹介などで、楽しみながら読書量を増やせるようにしたいです。

読書時間が長い子は、読み聞かせ経験が多いそうです。

(参考:ベネッセ教育情報「子どもの読書行動の実態」)

https://www.google.com/url?sa=t&rct=j&q=&esrc=s&source=web&cd=&ved=2ahUKewiZ2-X9u9KRAxXQZfUHHXKvAKoQFnoECBsQAQ&url=https%3A%2F%2Fbenesse.jp%2Fberd%2Fup_images%2Ftextarea%2Fdatatchild%2Fdatashu04%2Fdatashu04_.pdf&usq=AOvVawlGqL0fbQHMalghaf5WqveU&opi=89978449



ご家庭でも親子読書の時間や、読み聞かせ、図書館に行く時間などを設けてみてください。

2. **生活リズムの改善**: 「早寝・早起き・朝ごはん」は、体と心を整え、学習や運動の力を引き出します。睡眠不足は、集中力や気持ちの安定に大きく影響します。ICT 機器の長時間利用(2時間以上)は、睡眠や運動時間を減らす原因になっていると考えられます。

ご家庭では、ICT 機器の利用について次のようなルールを決めてみてください。「運動、学習、読書の時間を確保する」「就寝前1時間はオフにする」「食事中は見ない」「リビングでのみ使用」など。

(参考:公益財団法人日本小児科医会「デジタル社会の子育て」2024年版)

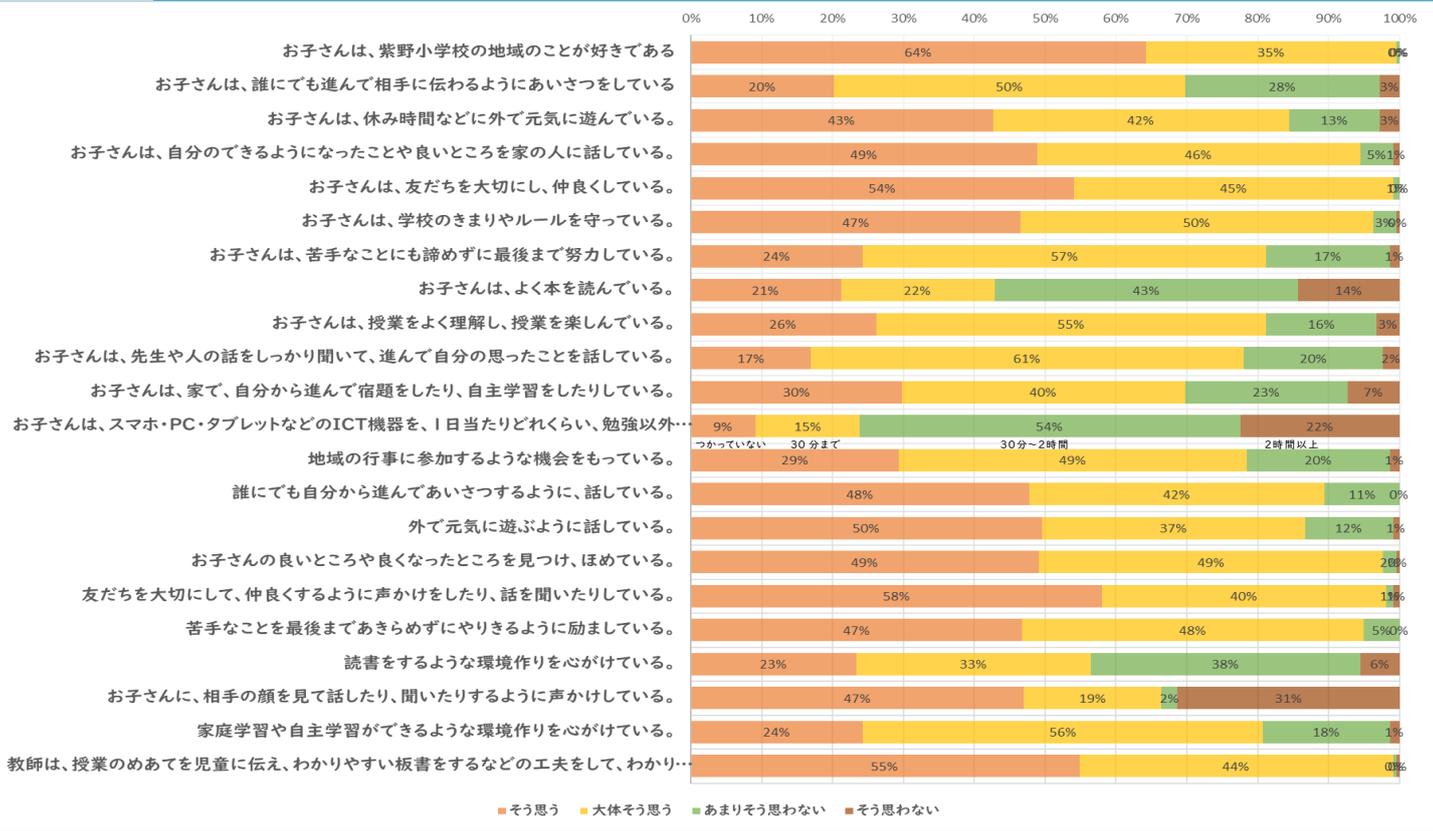
https://www.jpa-web.org/dcms_media/other/digital_kosodate2024.pdf



**ポイント ★「禁止」ではなく、一緒に決めることで子どもが納得しやすくなります
★紙に書いて見えるところに貼ると効果的です**

これらの改善点を踏まえ、子どもたちがお互いを大切に、安心・安全に過ごせる学校であるよう、笑顔や元気なあいさつの声が響くような学校であるよう、一人一人の子どもに寄り添った関わりを心がけてまいります。

【保護者】



肯定的な回答比較

第1回 第2回

項目	第1回	第2回	差分
お子さんは、紫野小学校の地域のことが好きである。	98%	99%	+1%
お子さんは、誰にでも進んで相手に伝わるようにあいさつをしている。	75%	70%	-5%
お子さんは、休み時間などに外で元気に遊んでいる。	84%	85%	+1%
お子さんは、自分のできるようになったことや良いところを家の人に話している。	92%	95%	+3%
お子さんは、友だちを大切に、仲良くしている。	99%	99%	±0
お子さんは、学校のきまりやルールを守っている。	96%	97%	+1%
お子さんは、苦手なことにも諦めずに最後まで努力している。	80%	81%	+1%
お子さんは、よく本を読んでいる。	47%	43%	-4%
お子さんは、授業をよく理解し、授業を楽しんでいる。	85%	81%	-4%
お子さんは、先生や人の話をしっかり聞いて、進んで自分の思ったことを話している。	75%	78%	+3%
お子さんは、家で、自分から進んで宿題をしたり、自主学習をしたりしている。	66%	70%	+4%
お子さんは、スマホ・PC・タブレットなどのICT機器を、1日当たりどれくらい、勉強以外につかっていますか。	つかっていない、30分まで	24%	
	2時間以上	22%	
地域の行事に参加するような機会をもっている。	77%	78%	+1%
誰にでも自分から進んであいさつするように、話している。	92%	90%	-2%
外で元気に遊ぶように話している。	85%	87%	+2%
お子さんの良いところや良くなったところを見つけ、ほめている。	95%	98%	+3%
友だちを大切に、仲良くするように声をかけをしたり、話を聞いたりしている。	98%	98%	±0
苦手なことを最後まであきらめずにやりきるように励ましている。	93%	95%	+2%
読書をするような環境作りを心がけている。	54%	56%	+2%
お子さんに、相手の顔を見て話したり、聞いたりするように声をかけている。	73%	66%	-7%
家庭学習や自主学習ができるような環境作りを心がけている。	81%	80%	-1%
教師は、授業のめあてを児童に伝え、わかりやすい板書をするなどの工夫をして、わかりやすい授業をしている。	98%	99%	+1%

<考察>

1. **地域への愛着**: 「お子さんは、紫野小学校の地域のことが好きである」という項目で 99%の保護者が肯定的に回答しており、地域への愛着が非常に高いことがわかります。
2. **家庭学習の習慣**: 「お子さんは、家で、自分から進んで宿題や自主学習をしている」という項目で 4%の増加が見られ、家庭での学習習慣が改善されています。
3. **友だちとの関係**: 「お子さんは、友だちを大切に、仲良くしている」という項目で 99%の保護者が肯定的に回答しており、友だちとの良好な関係が築かれていることがわかります。
4. **あいさつの習慣、読書習慣、授業理解と楽しさ(減少)**: 「お子さんは、誰にでも進んで相手に伝わるようにあいさつをしている」(-5%)、「お子さんは、よく本を読んでいる」(-4%)、「お子さんは、授業をよく理解し、授業を楽しんでいる」(-4%)と、減少しています。
5. **家庭での声かけ(減少)**: 「お子さんに、相手の顔を見て話したり、聞いたりするように声かけしている」という項目で7%の減少が見られます。学校での子どもたちの様子から「話すこと・聞くこと」の態度が悪化したようには感じませんので、相手の顔を見て話したり聞いたりすることが自然にできるようになり、家庭での声かけの必要がなくなったのかもしれませんが。

New 課題

★ 本校の課題「あいさつ」「読書」「宿題、自主学習」+「ICT機器の利用」について

「あいさつ」

- **保護者アンケート**: 「お子さんは、誰にでも進んで相手に伝わるようにあいさつをしている」(75%→70%)
- **児童アンケート**: 「自分から進んで相手に伝わるようにあいさつをしている」(89%→86%)
- **総合評価**: あいさつの習慣については、改善が見られませんでした。意識の低下だけでなく ICT 機器の利用の増加により「機会」の低下も考えられます。あいさつは、防犯上のメリットがあるだけでなく、対人関係の第一歩であり、信頼関係を築くための強力なスキルとなります。学校では、取り組み内容をふりかえり、学校全体で考えていきたいと思えます。ご家庭でもまずは「おはよう」の一言から、お子様と一緒に楽しみながらあいさつの習慣化を応援していただければ幸いです。

「読書」

- **保護者アンケート**: 「お子さんは、よく本を読んでいる」(47%→43%)
「読書をするような環境作りを心がけている」(54%→56%)
- **児童アンケート**: 「本をよく読んでいる」(69%→59%)
- **総合評価**: 全国学力学習状況調査テストやジョイプロなどの結果からも、紫野小学校の子どもたちに読解力をつける必要性が感じられます。読書習慣の促進にはさらなる取り組みが必要です。

「宿題、自主学習」

- **保護者アンケート**: 「お子さんは、家で、自分から進んで宿題をしたり、自主学習をしたりしている」(66%→70%)
- **児童アンケート**: 「家で自分から進んで宿題をしたり、自主学習をしたりしている」(84%→83%)
- **総合評価**: 保護者の皆様のサポートのおかげで、家庭学習の習慣化が前進しています。ありがとうございます。学校でも、宿題をしたか、取り組み内容はどうかだけでなく、自分からできたかについても声をかけていきたいと思えます。

「教師は、授業のめあてを児童に伝え、わかりやすい板書をするなどの工夫をして、わかりやすい授業をしている」(99%)の項目は、本校教員の励みとなります。今後も授業力向上に向けて研鑽を積み、子どもたちの学ぶ意欲に寄与してまいりたいと思えます。

一方、「あいさつ」「読書」については前期と比較して改善が叶いませんでしたので、今後も取組の精査・改善を図りたいと思えます。対面でのあいさつや読書習慣、生活習慣には「ICT機器の利用時間」も大きく関係していると考えられます。子どもたちの成長には私たち大人の関わり方が大きな影響を与えます。引き続き教職員一同、全力で粘り強く学校教育の推進に臨みますので、保護者や地域の皆様におかれましては、変わらぬご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

【保護者の「ご意見やご感想」】(省略したりまとめたりしています。見やすいように色をつけています。色に意味はありません。)

いつもありがとうございます(多数) 毎日楽しく学校に通っています(多数) 学級通信やホームページで学校の様子が分かるのでありがたいです(多数) 校長先生をはじめ、先生方がよい雰囲気を作っておられてありがたいです先生方に協力してもらっています 担任の先生が、お話す機会があるときは必ず子どもの様子を息子の様子を教えてくださいまして感謝しています 学年をこえてみんななかよしいなと思います 子どもは、担任の先生のことをすごく信頼しています 運動会も楽しかったですし、いろんな行事もたくさん経験させていただき、感謝しております。先生方は激務で大変かと思いますが、これからも未来ある子どもを(親と)一緒に楽しんで育ててください!! 連絡帳でいろいろと相談させていただいており、とても助かっています 学校でのできごとや先生の話を家庭で話してくれて、親子で共有したり話を深めたりする機会がもてています。最近では、道徳の授業が心に残ったようで、親子でたくさん意見交換しました 通学路に、校長先生はじめ、地域の方も見守りくださり、たくさん声をかけてくれることも本当にありがたいです 先生の支えてくださって苦手だったこともできるようになり、自信がついてきた 先生のおもしろいエピソードやお友達の話が増えて嬉しく思います 個性を受け止めてくださっていること、感謝しています

回答がづらい質問がいくつかあると感じました 学校に行きにくいときのサポートについて知りたい 給食について相談したい 日本語が話せないお子さんへのサポートについて教えてほしい クラスの友達との接し方に悩んでいます 先生のお名前や何の先生かわからなくて話しかけにくいと言っています 真っ白のプリントがランドセルの奥に入っていることが多く、勉強していない気がしています 部活もなくなり、運動不足が気になる

→お困りのことや質問などあればお気軽に学校までお伝えください。

たくさんの友達ができて外に遊びに行く機会が増えました。交通ルールなど守るように、機会があれば学校でも伝えてほしい。先生方のお話の方が耳に残るようです いじめアンケートの記入方法について工夫してほしい。クラスの中で一斉に書くのは、配慮が足りないのではないのでしょうか。子どもたちが安心して本音を書けるよう、環境を整えていただけるとありがたい

お忙しい中、貴重なご意見・ご感想をいただき、本当にありがとうございました。ご提案いただいた内容を真剣に受け止め、今後の教育活動に生かせるよう努力していきます。